

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	広報広聴特別委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成24年2月22日(水曜日)		開 議 午前 10 時 00 分
			閉 議 午前 11 時 30 分
出席委員	菱田 福井 苗村 山本 井上 西村 石野 (明田委員、木曾議長欠席)		
事務局出席者	藤村次長、阿久根係長、三宅、池永		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

- 菱田委員長あいさつ -

2 議事

(1) 委員会の役割分担について

(ア) 議会だより

(イ) 議会報告会

< 菱田委員長 >

新しい委員会の体制となり、改めて議会だより、議会報告会それぞれの役割分担を決めていきたい。議会だよりは、新年度から16ページ構成の内容で予算要求しており、これまでの3割増しの内容となる。いかに有効に誌面を使うか作業グループを組み、検討していきたいと考えている。議会報告会についても、これまでの報告会を振り返り今後の活動のあり方を考えなければならない。

< 苗村委員 >

昨年当初もグループ分けした経過があり、機動的に活動するためにはグループ分けは必要である。

< 西村委員 >

この1年、グループ分けはあったものの、グループというよりは委員会全体で取り組んできた。グループ分けは必要ないのでは。

< 菱田委員長 >

これまで原案を事務局に任せてきたが、これからはその原案をつくるためのワーキンググループが必要であると考えている。

< 山本委員 >

グループによらず委員全員で意見を出し合って進めていく方がよいと思う。

< 菱田委員長 >

原案の段階で方向性を見出すことを委員自ら行いたい。これまでは事務局に任せっぱなしであったが、より自主的な運営によるものとし、内容を充実していきたい。

< 山本委員 >

原案における方向性を作業グループで検討し、そのうえで委員会に諮り意見をまと

めるかたちであるなら了解する。

<井上委員>

委員の人数も多くないことから、皆で考えて進めていけばよい。

<菱田委員長>

その皆で考える原案というのが事務局任せであるので、それをやっ払いこうというものである。タタキ台から議員でつくるべき。

<井上委員>

そうなると分担しないと大変である。

<菱田委員長>

議会だよりにおいて、議員の関わりは増えてきたが、もっと議員手作りのものを作るためには、もっと関わっていかなければならない。

<石野委員>

これだけの人数であるので、グループ分けまでする必要はないと考える。

<井上委員>

委員長は、グループの作業内容について具体的にどのようなことを考えているのか。

<菱田委員長>

これまでは、委員会に提案する前の段階では正副委員長しか関わっていない。そうしてつくった原案を委員会で確認する方法よりは、もっと原案の段階で色々な意見を出し合っていくべきと考える。しかし委員全員で考えていくと、中々先に進まなくなる。よって数名の担当委員により関わっていくべきと考える。

<井上委員>

2～3人程度のグループとなるのか。

<福井副委員長>

まずは議会だよりと議会報告会のそれぞれのリーダーを決めてみてはどうか。そして作業部会として、リーダーを中心に参加可能な委員を集めて編集作業に入る場を持てれば、委員会での会議の負担を軽減することもできる。

<苗村委員>

現在では、議会だより、議会報告会とも、ようやくパターン化されてきたので、大きな枠組みをさわらなくともよくなったが、議会だよりでは細かい部分で印刷業者を交えた綿密な打ち合わせは必要である。そのための作業部会は必要と考えるが、参加委員を特定しないとあいまいなものになってしまう。

<井上委員>

作業部会により誌面の分担をしていくことは、相当な労力が必要であり、集まる回数が増えてくるのではないか。

<菱田委員長>

労力が増えるというが、本来委員自身が作る部分を事務局に助けてもらっているもので、これまで楽をしてきたともいえること。当初は大変であるが、やっていくうちにパターン化されてくる。議会が自らやる部分であるので、もっと関わらなければならぬ。

<井上委員>

仕事が増えることを嫌っているわけではない。そのような新しい体制でやってみてもよいと考える。

<山本委員>

事務局の関わり方は。

<菱田委員長>

事務局のサポートはもちろん必要である。しかし、議員側から増ページを要求したことであるので、もっと議員が主体的に取り組まなければならない。

<西村委員>

委員長は、外向きにより恰好をするように進めるがその進め方は間違っている。事務局は当然必要なもの。またグループでやるのであれば、グループを尊重し、他の者は異論を唱えるべきではない。

<山本委員>

他の者は意見を言えないのであれば、結局は全員で取り組むこととなる。

<西村委員>

グループでは責任を持って取り組むので、それに意見を付けられるのは如何なものか。ある程度グループに任せる見方をしてもらわないと困る。

<菱田委員長>

グループでしっかり議論された結果であれば、委員会でもうまくまとめることができるであろう。それではグループを分けることとしたい。

<福井副委員長>

議会だよりのリーダーとなる。

<西村委員>

前回のように半分に分ける必要はない。議会報告会は2人程度でよいのでは。

<苗村委員>

2人では議論とならない。3人は必要。また西村委員の言い分もあるが、あくまでもタタキ台を作ることであって、広報広聴の委員会としてはこの場で意見を確認し、決するものである。

<菱田委員長>

それでは、議会だよりに関しては、福井副委員長をリーダーとして、山本委員、井上委員、石野委員が担当し、議会報告会に関しては、苗村委員、西村委員、明田委員が担当することとしたい。議会報告会については、西村委員にリーダーとなってもらいたい。

<全員了承>

作業部会

- | | | | | |
|-------------|--------|------|------|------|
| ・議会だよりのグループ | 福井副委員長 | 山本委員 | 井上委員 | 石野委員 |
| ・議会報告会グループ | 西村委員 | 苗村委員 | 明田委員 | |

(2) 議会だよりの臨時号(平成24年第1回臨時会号)の掲載事項について

- (ア) 文章の確認
- (イ) レイアウト表の確認
- (ウ) 写真の協議

[1ページ]

<菱田委員長>

文章、レイアウト、写真について、ページごとに確認していく。まずトップ写真Aについてご意見を。

(事務局、トップ写真A～Dについて説明)

(各委員、写真選定について意見交換、CまたはDの意見多数)

< 菱田委員長 >

トップ写真について、CとDのどちらにするか採決をする。

(C : 2 名、 D : 4 名)

< 菱田委員長 >

トップ写真はDに決定する。

[2 ページ]

< 西村委員 >

会派構成の異動について、酒井議員が異動した内容まで掲載する必要はないのでは。

< 山本委員 >

特に必要はない。

< 苗村委員 >

異動内容としては、緑風会の人数と改革かめおかの幹事長、幹事が変わったことだけでよい。

< 菱田委員長 >

そのように整理する。また議長、副議長の改選について、記事中、「申し合わせにより1年任期」という部分は前回の臨時号では掲載していたが、今回削除してはどうか。

< 井上委員 >

申し合わせという表現は好ましくない。

< 菱田委員長 >

この部分についても整理することとする。

[3 ページ]

< 菱田委員長 >

各会派の写真、文章については、各会派で確認するように。

[4 ページ]

< 井上委員 >

かめまるの吹き出しの文言は「新しい体制でスタートしたよ」と柔らかくしてはどうか。

< 全員了承 >

(3) 今後の編集日程について

[事務局説明]

- ・ 3月 2日(金)開会日：各会派幹事に校正配付。
事務局へ校正返却は5日(月)まで。
- ・ 3月 6日(火)午前10時：**広報広聴特別委員会**
(ゲラ版での最終確認)
午後、業者に校正依頼 校了。
- ・ 3月15日(火)臨時号 全戸配布

~ 1 0 : 5 5

(4) 議会報告会(2月10日開催)について

(ア) 実施報告、アンケート結果

< 菱田委員長 >

- 資料に基づき説明 -

・千歳町は地元で葬儀もあり参加者が少なかったが、動員については今後考える必

要がある。

- ・アンケート結果の問6(3)に特別委員会の審議内容の掲載要望がある。環境対策特別委員会で提言を出す動きがある。過去には平和人権対策特別委員会でも提言を出しているが、提言の原文を載せても良いのでは。ワーキンググループ内で検討を。

(ウ) 報告会総括

< 菱田委員長 >

亀岡中部の状況は。

< 井上委員 >

アンケートにも質問者の質問時間を制限すべきという意見と、意見を止めるべきではないという意見が出ている。「簡潔にお願いします」など、メリハリのある進行が必要。

< 菱田委員長 >

宮前町は。

< 西村委員 >

地元要望が多く、地域こん談会との重複もあった。「議会として聞いて帰ります」だけでは、来ている人にとっては「きっぱりとしないまま帰って行った」というイメージとなる。きっぱりとした返事ができないのが今後の課題。

< 苗村委員 >

今までの報告会の中で雰囲気は一番良かった。バス交通の話も生の声を聞き、大変さが良く分かった。

< 井上委員 >

亀岡中部で、サッカー場について予算や環境のことを考えているのかという反対意見が2~3件出た。

< 福井副委員長 >

亀岡中部では「質問は簡潔に」と2度ほど言ったが効果がなかった。対応に困る質問も多かった。

< 菱田委員長 >

千歳は来てもらう工夫を考えなければならない。今後の課題である

(イ) 意見・要望等と回答

< 菱田委員長 >

表現や中身を含めて目を通していただき、次回の委員会で意見を。問題があればそこで整理し、問題がなければホームページに掲載し「所管」に割り振る。

< 事務局 >

総合福祉センター「16」、宮前「1」「2」は公社の特別委員会に直接割り振り、対応を検討いただいてはどうか。

< 菱田委員長 >

所管の整理を行い3月6日の委員会で示す。

(5) 次回の議会報告会(3月定例会報告分)の日程等について

- ・議会だより... 4月30日発行予定
- ・場所：菫田野町、千代川町、篠町

< 菱田委員長 >

蕨田野町は生涯学習センター、千代川は千代川町自治会館、篠町は東部文化センターでどうか。

<石野委員>

東部文化センターは広すぎる。篠町の自治会館はどうか。

<菱田委員長>

蕨田野町は生涯学習センター、千代川は自治会館とし、篠は地元議員や自治会長と相談して決める。常任委員会の視察もあるので、日程は5月7日か8日でどうか。案を出し、議運で了承いただく必要がある。

<西村委員>

その方が良い。遅くなると蕨田野は田植えが忙しくなる。

<石野委員>

早めに決定すれば常任委員会の視察を外してもらえる。

- 日程調整 -

<福井副委員長>

5月8日でどうか。

<石野委員>

だよりが5月1日の全戸配布なので、手元に回らないのでは。

<菱田委員長>

自治会の回覧もある。4月中旬や初旬に回覧すればアピールできる。また、地元議員は入らないが、動員には協力願う。では5月8日(火)の20時からとする。

3 その他

<井上委員>

「表紙をページ数に加えない」や「縦書きと横書きが混じっている」等、前回だよりに対する意見をもらったが、どのように扱うのか。

<福井副委員長>

作業部会で検討していきたい。

<苗村委員>

「作業所だより」は似たような構成だが読みにくくない。読みやすさで考えれば良いのでは。

<菱田委員長>

ワーキンググループで検討すべきことがあれば意見を。特別委員会で、文書で市長宛等に提示している部分は検討いただきたい。

<福井副委員長>

ワーキンググループは、寄れる時に声をかけるようなやり方で良いのか。また、3月議会分の議会だよりの業者の決定の日程は。

<菱田委員長>

ワーキンググループはそれぞれ声をかけて随時開催を。声をかけていただければ自分も入る。業者の選定のスケジュールは。

<事務局>

入札はこれからである。前年は4月だったが、今回は3月中に契約できるように進めている。

<西村委員>

入札なのか。

<事務局>

そうである。

< 西村委員 >

安いだけでなく、意図を含んでデザインしてもらう技術が必要。今日までの経過を踏まえて内藤印刷と随意契約できないのか。

< 事務局 >

今の亀岡市の契約上、一社随契は難しいので入札とする。事前のアドバイスや会議への出席も仕様書に入れた上での入札である。

< 菱田委員長 >

今までの実績の加味はあるのか。

< 事務局 >

加味はない。

~ 11 : 30